

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 5月22日更新

事務事業名		下水道事業会計繰出金支出事務				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	事業部	課長名	岩男 竜彦
	施策	20	水の安定供給と排水の浄化			所属課	都市計画課	担当者名	綾部 朝子
	施策の柱	61	排水の浄化			所属班	都市計画班	(内線)	2235
予算科目		会計一般	款8	項4	目4	事業連番10174	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑥ コスト削減優先度評価結果 : ②	
終了、開始年度		☐ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市水道局上下水道課の請求に伴い、繰出金の支出事務を行う。 平成27年度から下水道事業等が企業会計化された。
【業務の流れ】	請求書受領、支出負担行為兼支出命令書の起票
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金、投資及び出資金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)		29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
請求書受領、支出負担行為兼支出命令書の起票		請求書受領、支出負担行為兼支出命令書の起票	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由	
⇒ ア 繰出金の支出	イ	下水道事業会計負担金(営業収益)、下水道事業会計補助金(営業外収益)の減	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	(単位) 件	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
下水道事業会計繰出金	⇒ ア 繰出金の支出	イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 千円	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
公共下水道事業や農業集落排水事業の運営のため、一般会計から下水道事業会計への繰出金の支出を行う	⇒ ア 繰出金の額	イ	
* ③ 成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠 繰出金が確実に支出されたことを確認する			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込	
① 活動指標	アイ	件	5	3	3	3	3	3	3	3	
② 対象指標	アイ	件	5	3	3	3	3	3	3	3	
③ 成果指標	アイ	千円	542,496	572,509	650,000	748,051	650,000	650,000	650,000	650,000	
投資 入費 量	事業 内訳	財源内訳	千円								
		国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	542,496	572,509	700,751	748,051	582,002	650,000	650,000	
		(A) 事業費計	千円	542,496	572,509	700,751	748,051	582,002	650,000	650,000	0
		(A)のうち指定経費	千円	542,496	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	2	1	2	1	1	1	0
		延べ業務時間	時間	10	10	1	20	1	1	1	0
(B) 人件費計		千円	39	37	3	0	3	3	3	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	542,535	572,546	700,754	748,051	582,005	650,003	650,003	0	

事務事業名	下水道事業会計繰出金支出事務	所属部	事業部	所属課	都市計画課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 事務事業の内容は繰出金の支出のみであるため、目標達成の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 事務事業の内容は繰出金の支出のみであるため、成果向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 公共下水道事業や農業集落排水事業の運営内容による。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 繰出金の支払い事務のための、削減余地がない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 下水道事業に関しては受益者負担となっており、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 公共下水道と農業集落排水事業については、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、公共用水域の水質の保全に資するため、県または市で運営している。

3 評価結果の総括 (CHECK)

繰出金の支出事務を行なった。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								